



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校

令和7年 12月 24日(水)

2学期終業式号 児童数413名

TEL: 048-466-4481

<http://www.asakadai9shou.city-asaka.ed.jp>

【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」
すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

【めざす学校像】 「元気なあいさつと明るい笑顔で輝きのある学校」



感謝の気持ちを忘れずに伝えよう!

校長 小林美加

寒さが一段と厳しくなってきましたが、子供達は元気いっぱい2学期を過ごし、本日、無事に終業式を迎えることができました。いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただいた地域や保護者の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

2学期は、運動会をはじめ、様々な行事を通して、子供達の成長を感じる場面がたくさんありました。友達と力を合わせて取り組む中で、思いやりや責任感も育ってきたように思います。引き続き、3学期も「学ぶ喜びと感動あふれ、地域から応援してもらえる朝霞九小」を推進してまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、終業式ではグリム原作(いもとようこ文絵)の「こびとのくつや」という絵本を紹介しました。【正直で働き者の靴屋さん。でもだんだん貧しくなり、とうとうあと靴一足分の皮だけになってしまいます。ところが、次の朝、不思議なことに見事な靴ができていて、お客さんが高い値段で買ってくれました。同じことが続いたある夜、靴屋さんとおかみさんが工房をのぞいてみると・・・】(続きは、子供達から聞いてください。)

このお話から、**どんな時も、正直にまじめに一生懸命取り組むこと**の大切さがわかります。どんなに頑張っても、うまくいかなかったり、失敗したりすることもあります。でも、どんなことがあっても、正直に頑張っていれば、きっといいことがあるはず。誰かが助けてくれるはず。その積み重ねが自分自身の力にもなります。

もうひとつは、**見えないところで支えてくれる人へも感謝の気持ちを忘れずに伝えること**の大切さです。助けてもらって当たり前、やってもらって当たり前ではなく、すべてのことに対して感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。そして、見えないところで支えてくれている人にも気づくことができるともっと素敵だと思います。感謝の気持ちをもっていれば、どんな時も幸せを感じることができます。2学期の終わり、そして令和7年の終わりに、お世話になったすべての人に「ありがとう」の気持ちを伝えたいものです。

明日からは冬休みです。冬休みは、1年をふり返り、新しい年に向けて気持ちを整える大切な時間です。健康に気をつけながら、ご家庭でも「ありがとう」の気持ちを言葉にして伝える機会をもっていただけたらと思います。

地域や保護者の皆様も、お身体に気を付けて、よいお年をお迎えください。

2学期もたくさんのあたたかいご支援とご協力をいただき、ありがとうございました。

